

平成18年 3月28日

能代山本だより

第19号

新能代市が3月21日、三種町が3月20日、八峰町が3月27日と能代山本の市町村合併が行われました。この3つの市町の首長選挙は4月23日です。議員選挙は、能代市と三種町が同じく行われます。三種町はその後の予定です。

八峰町の合併で、秋田県内の平成の合併が一段落となり、これまで、69市町村あったものが25市町村にまとまりました。

能代市と二ツ井町の合併で、能代市の本庁舎（といっても、古くて、第5庁舎まであって、建物によっては迷路のような場所もありますが）には、旧二ツ井町の職員が40人ほど通ってきています。二ツ井庁舎には、二ツ井地域局のほか環境部と教育委員会などの部署があり、旧能代市の職員がやはり、40～50人ほど行っています。

朝の8時頃は、国道7号の鶴形、富根付近では、通勤の自動車の交通量が大幅に増えています。

関東では、桜が咲いたと報道されていますが、秋田県の桜は4月20日頃の開花と予想されています。世の中の動きには緩急、浮動がありますが、春が来ると桜はなんの迷いもなく咲きます。市町村合併などで慌ただしい毎日が続いていますが、花見の頃だけでも、一息入れられればと思っています。

能代山本の春は野山の花がほとんど一斉に開きます。ミズバショウ、ウメ、レンギョウ、コブシ、モクレン、サクラなどが前後して、時季を重ねて咲き、春を楽しくしてくれます。北国の春の良さのひとつです。これも能代山本のPRになればと思っています。

イベント

ミニ雪灯ろう幻想的に / 峰浜村手這坂

6-3-32

峰浜村の手這坂の冬まつりは3月5日、同村の手這坂で開かれ、2千個のミニ雪灯ろうを製作、日暮れに灯がともされると、無人のかやぶき屋根集落は闇夜の中に幻想的に浮かび上がりました。冬まつりは、雪深い手這坂の雪原やかやぶき屋根民家を使って遊び、冬を満喫しようという企画。参加者はスコップやバケツを手作業にこしめ、合間には静寂に包まれた中で一緒に昼食を楽しむなど、冬ならではの手這坂の楽しみも満喫。ことしは過去最高となる2千個のミニ雪灯ろうが完成し、無人のかやぶき集落を囲むように配置されました。

リゾート「くまげら」五能線にデビュー

6-3-33

JR五能線のクルージングトレイン、リゾートしらかみの3編成目となる「くまげら」は18日、運行を開始しました。この日は、秋田 青森間の1往復が上り下りともほぼ満席となり、五能線沿線の景観や停車駅の観光メニューを満喫しました。また、東能代駅と、同日のダイヤ改正に合わせて新たに停車駅となった森岳駅では各観光協会などが歓迎イベントを繰り広げ、地元の観光資源を売り込みました。東能代駅では、「き

りたんぼ」と「だまこもち」の鍋を振る舞い、秋田の食をPRしました。

能代山本の食・農林漁業

琴丘町で「干しもちまつり」

6-3-34

琴丘町の農産物直売施設・グリーンぴあの「干しもちまつり」が3月4日、5日、道の駅ことおか内の同施設で行われました。まつりでは、10個の干しもちをつなげた1連を二つずつ袋に入れ、400円で販売。こはぢゃ(ナツハゼ)やカボチャ、梅シソ、紫イモなどで色とりどりに着色されており、訪れた人たちは目にも鮮やかな伝統食を1袋、2袋と買い求めていました。

ジュンサイをフレンチに / 食フェスタ

6-3-35

山本町観光協会主催の森岳温泉食フェスタが3月5日、森岳の丸富ホテルで開かれ、約30人の参加者がフレンチの一流シェフが手掛けたジュンサイ料理に舌鼓を打つとともに、さまざまなレシピへの応用の可能性に理解を深めました。

あきたブランドに2種 / JA やまもと

6-3-36

安全、安心を基本に、一定基準以上の品質を備えた県産農産物を認証する「あきたブランド」に、JA秋田やまもとの生シイタケとミョウガが選ばれました。認証後3年間は「あきたブランド」マークを付けて市場に出荷することができ、優れた県産農産物をアピールすることにもつながります。

能代山本ではこれまでにJAあきた白神のネギ(産地ブランド)、山ウド、ミョウガ(特産ブランド)、JA秋田やまもとのメロン、ミニトマト、アスパラガス(産地ブランド)が認定を受けており、認定品目はこれで8品目となりました。

料理の道、精進誓う / 第60回四條公祭

6-3-37

能代調理師清庵会・日本料理研究会能代支部(藤田昭三会長)の第60回四條公祭が3月12日、能代市柳町の金勇で行われ、約60人の参列者が職人としての技術向上、料理の道での精進を誓いました。また60周年を記念して、四條流庖丁儀式が行われ、日本料理研究家師範の鈴木直登さんを庖丁士に「長久の鯉」と題して、直垂姿で古式に乗っ取った作法で、鯉が裁かれ、参列者の耳目を引きつけていました。

直売所、名称は「ぶりこ」 / 八森町

6-3-38

八森町に4月オープンする農林水産物直売施設の管理運営組合設立総会は13日、同町のファガスで開かれ、イベント計画などを承認したほか、組合長に三輪清美さん(岩館)を選出しました。同施設では農産・加工品や、水産物など、八森町の特徴を強調した品ぞろえに努めることにし、名称は、八夕八夕館に隣接することから「ぶりこ」と名付けられました。八森町に直売所が開設されることで、能代山本では8市町村すべてに直売所がそろう予定です。

食彩人パーティー、地場食材をふんだんに

6-3-39

能代観光協会と同市主催の食彩人パーティーが17日、能代市上町のやま久で開かれ、参加者は「春よこい!」をテーマに味だけでなく、彩りなど見た目も春らしく趣向を

凝らした品々に舌鼓を打ち、“料理人”の技術やアイデアを堪能しました。食彩人事業は、能代地域の伝統料理や地場食材を生かしたメニューを作り、食を観光の柱の一つにしようと同観光協会などが取り組んでいます。催しは今回で 8 回目で、市内外から約 60 人が試食に参加しました。今回は、東京からホームページを見て、参加した人もいて、食彩人が少しずつ観光につながってきたことが伺えました。

半年ぶりの魚信に笑顔 / 溪流釣り解禁

6-3-40

県内の各河川で 21 日、イワナ・ヤマメの溪流釣りが解禁されました。能代市山本郡の川辺にも夜明けから太公望が繰り出し、好天の下、半年ぶりの当たりを楽しんでいました。県内の溪流釣りは、県内水面漁業調整規則で 21 日から 9 月 20 日までの半年間と定められています。能代山本では藤里町の藤琴川、旧二ツ井町の内川、能代市の常盤川、八森町の真瀬川、峰浜村の水沢川などで解禁。太公望が県内外から集まり、夜明けとともにさおを振るいました。豪雪に見舞われた今年は残雪が多く、上流への入渓はまだ困難な状況。融雪の進んだ中流・下流域が狙い目ですが、例年以上に雪崩や雪庇（せっぴ）増水への注意が必要です。待ち焦がれた半年ぶりの対面を間近に控え、能代山本の釣具店にもわかに活気づいてきました

白神関係

白神の冬景色を堪能 / 藤里町

6-3-41

「スノーハイキング・真冬のブナ林を歩く」と銘打った自然観察会が 3 月 26 日、藤里町藤琴の水無沼周辺で行われ、参加者は豪雪の中をかんじきを履いて散策、白神山地の冬景色などを堪能しました。環境省東北地方環境事務所が主催、藤里自然保護官事務所と白神山地世界遺産センター藤里館活動協議会が自然や白神山地に対する理解を深めてもらおうと実施しました。秋田市、能代市、大館市などから男女 13 人が参加しました。

子ども・教育・学校

再生車いすをスリランカへ / 能代工高生

6-3-42

一昨年 12 月に発生したスマトラ沖大地震で多くの負傷者を抱えるスリランカに車いすを贈ろうと、能代工高（木村勝校長）の機械・電気両科の生徒 11 人がこのほど、能代市社会福祉協議会から提供された車いす 2 台を新品同様に再生しました。近く、スリランカの児童福祉施設に送られますが、同社福協は「こんな立派になるなんて」と専門を生かした技能に感心するとともに、被災者の思いを胸に活動に取り組んだ生徒に感謝していました。

61 年ぶりに卒業証書授与 / 旧制能代中

6-3-43

終戦間近の混乱などで、卒業証書を受け取れなかった旧制能代中学校（現能代高校）17 期生 8 人のための卒業式が 3 月 1 日、同校で 61 年ぶりに行われました。出席した 3 人は、傘寿を間近に授与された卒業証書に青春と、苦難の時代を振り返りながら喜びと感慨に浸っていました。

689 人に喜びの春 / 高校入試一般選抜

6-3-44

18年度県公立高校入試一般選抜の合格発表が3月14日、県内各校で行われました。能代山本6校の全日制では687人、定時制は能代工・普通科で2人が合格しました。会場には受験生や保護者らが続々と詰め掛け、自分の受験番号を見つけた受験生たちの歓声が響きわたり、“15の春”を迎えた喜びを分かち合う光景があちこちで広がりました。

風の松原・マツ

古木4本に薬剤注入 / 風の松原

6-3-45

能代市の風の松原に守られる人々の会は3月2日、風の松原で松枯れを予防するための薬剤樹幹注入作業を行いました。樹幹注入の対象木は、松原内で一番太いとされる松と長年風を受けて幹が斜めになった松の計4本で、いずれも樹齢は約160年。3年前にも薬剤を注入している木ですが、樹幹内の薬剤の効果が薄くなっていくため今回再び注入しました。

松くい虫被害、藤里町でも

6-3-46

県松くい虫被害対策山本地域連絡協議会が3月8日開かれ、管内の18年度事業計画を確認しました。17年度は、藤里町で新たに松くい虫被害が確認され、これで管内の能代山本8市町村すべてに被害が及んだことになり、18年度は国事業も合わせて引き続き駆除、被害防止に努めていく方針を示しました。

スポーツ・バスケットボール

能工高OBの内海氏、再び監督に

6-3-47

日本バスケットボール協会は3月10日、女子日本代表監督に能代工高OBでWリーグ・J M ヘッドコーチの内海知秀氏(47)の就任を決めました。2年ぶりの監督復帰で、任期は20年の北京五輪まで。同校OBで日本代表監督に就任したのは内海氏のみ。内海氏は16年のアテネ五輪で女子監督を務め、同年に退任。その後は後任が決まらず、日本協会が同氏に復帰を要請していました。同日開かれた理事会で正式決定されました。

バスケット、田臥が日本代表候補に

6-3-48

米プロバスケットボールNBAのマイナー、NBAデベロップメントリーグ(NBADL)のアルバカーキに所属する田臥勇太(25) = 能代工高出身 = が、日本男子代表候補選手に選ばれました。チームは4月から海外遠征や国内での強化合宿など経て、8月から日本で開かれる世界選手権を目指します。

暮らし

アーケード解体は一体的に / 3 商店街

6-3-49

能代まちづくり市民会議の全体会は 3 月 27 日、能代市柳町のプラザ都で開かれ、市畠町商店街振興組合の総会で解体の方向が定まった「畠町通りアーケード問題」について、市民会議のメンバーにも連なる中央、駅前も含めた 3 商店街一体の解体、通りの整備を進めていくことを確認しました。また、市民会議の組織特性を生かして、解体工事の進め方、進行状況の情報提供について具体的に提言し、工事後の客離れ回避の主導的な役割を果たすことなどを協議しました。

彼岸入り、墓地に香煙たなびく / 能代山本

6-3-50

彼岸入りの 18 日、能代山本地方は穏やかな一日となり、雪解けが進んだ各墓地には朝から花や供え物を手にした家族連れなどが訪れ、先祖の霊を慰めていました。この冬の豪雪で、同地方の墓地では、弔い事にも支障が出るほどの積雪となりましたが、2 月下旬から一気に雪解けが進みました。能代市萩の台の共同墓地では、春彼岸に入ったこの日までに、日陰などの一部を除いてほとんど雪は消えました。同墓地には朝から家族連れや夫婦らが続々と訪れ、墓石の汚れを丁寧に洗い落とすなどしてから花と供物を供え、静かに手を合わせていました。

能代カントリークラブがオープン

6-3-51

峰浜村田中の能代カントリークラブが 18 日、能代山本のゴルフ場の先陣を切って今季の営業を始めました。豪雪で再開の遅れが心配されたが、昨年より 5 日早いオープンとなりました。この日を待ち焦がれた県内外のゴルファーは、芝の上で久々のラウンドを満喫していました。沿岸部に面した同クラブは、積雪が少ない地理的条件から、県内でもオープン時期が早くなっていました。今冬は記録的な大雪に見舞われ、開始時期の遅れが危ぶまれましたが、2 月中旬から気温の上昇と降雨で雪解けが一気に進みました。県ゴルフ連盟加盟 15 ゴルフ場のうち 2 番目の開業で、3 月オープンは 2 年連続。

無病息災願い百万遍 / 能代山本

6-3-52

春彼岸中日の 21 日、大数珠を回して祖先を供養し、無病息災を願う彼岸行事の「百万遍」が、能代山本の各地で行われました。民間信仰の一つの百万遍は百万遍念仏ともいわれ、全国各地に伝わっています。能代山本でも継承され、一般的には春彼岸の中日を中心に 3 日間行われます。

大雪・天候

「平成 18 年豪雪」と命名 / 気象庁

6-3-53

気象庁は 3 月 1 日、日本海側を中心に甚大な雪害をもたらした今冬の大雪を「平成 18 年豪雪」と命名したと発表した。大雪に命名するのは、「昭和 38 年 1 月豪雪」以来 43 年ぶり。

能代山本でも 1 月 4 日夜から 5 日朝にかけて大雪が降り、能代で最深積雪 92 センチ（能代消防署調べ）、二ツ井藤里地区では 1 メートルを超える積雪となりました。この

ため雪害も相次ぎ、県雪害対策部によると、能代山本では雪下ろし事故で3人が死亡、家屋の倒壊や融雪での住家浸水なども続発しました。

全県で231件、248人が死傷 / 雪害事故

6-3-54

県警地域課は3月8日、今冬の雪害発生状況を発表しました。昨年12月11日から2月末現在の発生件数は231件で昨冬を122件(111.9%)、死者と負傷者は248人で139人(127.5%)上回りました。人的被害の特徴として県北、県南地区での発生が目立ち、能代署管内は死者3人を含む18人に上りました。

冬へ逆戻り、真冬日に / 能代山本

6-3-55

能代山本地方は3月13日、強い冬型の気圧配置になったため終日冷え込み、2月12日以来の真冬日を記録、厳しい寒の戻りとなりました。能代消防署によると、この日の能代市の最高気温は平年より7.6度低い氷点下1.5度(午後1時50分)、最低気温は平年より3.8度低い氷点下4.9度(午前7時50分)でした。

同地方はここ数日、気温が平年より高めの春めいた日が続いていましたが、この日は冬に逆戻りしたかのような1日に。雪解けが進んでいた道路も白一色となり、道行く市民は吹き付ける風雪に身を縮めて歩いていました。

地吹雪予報が大ヒット / 国交省能代

6-3-56

国土交通省能代河川国道事務所が今冬初めて実施した県北地域の国道7号(琴丘～大館)の地吹雪予測情報が、3カ月間でアクセス件数2万件を超えました。同事務所は「予想を上回る利用」と受け止めていました。3カ月間のアクセスは2万4632件。1日当たりで多かったのは、ドカ雪の降り始めとなった1月4日の1118件、翌5日の903件で、1日平均は300件のアクセス。

風物・季節・自然

北帰行へ“準備”渡り鳥

6-3-57

春の足音が近づくにつれ、能代山本地方の雪解けの進んだ水田に羽を休めるハクチョウの姿が見られるようになりました。能代市や八竜町の圃場には数十羽から数百羽が降り立ち、落ちたモミをついばむなどして長い北帰行に向け備えていました。

「バツケ」顔出し春本番

6-3-58

能代山本地方は17日、低気圧が抜けた影響で青空が広がりました。陽光が降り注ぐ中、日当たりの良い土手などではバツケ(フキノトウ)が顔を出し、地域住民に春本番間近を予感させていました。

合併関連

閉庁式で35年の歴史に幕 / 2消防組合

6-3-59

3月1日の能代山本3地区消防組織の統合を控え、山本郡南部地区消防一部事務組合と二ツ井藤里地区行政組合の両消防本部は28日、閉庁式を行いました。消防署員ら

は、組合管理者の訓示を受けながら、これまでの両消防本部の歴史に思いをはせるとともに、新組織で地域の安心・安全を守る消防、救急業務に尽力することを誓い合いました。

広域消防、4 署体制でスタート

6-3-60

能代山本広域市町村圏組合消防本部が3月1日、発足しました。能代、山本郡南部、二ツ井藤里の3地区消防本部の消防・救急業務を統合、能代、三種、二ツ井、八峰の4消防署体制となりました。この日は、能代市緑町の同本部で開庁セレモニーを行ったほか、同市海詠坂の能代山本広域交流センターで辞令交付式を行い、業務の機動力アップなど広域化による組織力の強化に向けて新たなスタートを切りました。

合併で閉町式 / 二ツ井町の歴史に幕

6-3-61

能代市と合併する二ツ井町の閉町式は3月11日、町総合体育館で行われ、児童生徒が合併によってなくなる「町への思い」、合併に期待する「明日へのメッセージ」を朗読したほか、町旗を降納するなど同町の半世紀の歩みに別れを告げるとともに、合併による新市の発展に期待を寄せました。閉町式には町民など約300人が出席。丸岡町長が「二ツ井町が旗印に掲げる緑のフロンティアは新市に引き継がれます。二ツ井町最後の町政を担うことができたことは感慨もひとしお。町の歴史に幕を閉じることは万感胸に迫るものがある」と式辞を述べました。式典の最後には、出席者が見守る中で児童生徒が同体育館の正面玄関前に掲揚していた町旗を降納しました。

合併新町の発展祈念 / 琴丘町で閉町式

6-3-62

山本郡南部3町合併に伴う琴丘町の閉町式が3月12日、町総合体育館サブアリーナで行われました。町民や関東琴丘会の関係者ら約300人が出席し、半世紀の町の歴史を振り返るとともに、合併新町「三種町」としてますます発展することを祈念しました。琴丘町は昭和30年4月1日、鹿渡町と上岩川村が合併して誕生。「体育の町」宣言や梅の里など独自の町づくりを進めてきましたが、山本、八竜との3町合併により3月19日で歴史に幕を下ろしました。

山本、八竜、八森3町で閉町式

6-3-63

山本郡南部3町の合併で3月20日に三種町となる山本、八竜両町と、峰浜村と合併して27日に八峰町となる八森町で17日、それぞれ閉町式が行われました。式には役場職員や議会議員のほか、消える町名を惜しむ多くの住民らが参加。半世紀余の歴史を振り返るとともに、「新町でますますの飛躍を」と願いました。

村旗降納、発展を願う / 峰浜村閉村式

6-3-64

峰浜村閉村式典は3月19日、同村の峰浜中体育館で開かれました。約550人が参加し「峰浜村」の名称に別れを告げ、新生八峰町では隣接する八森との融和に努め、新たなまちづくりに力を結集することを誓いました。峰浜村は昭和30年、沢目村と埴川村が合併して誕生、32年に鳥形、比八田、外荒巻が分村して能代市に編入し、現在の姿となりました。村制施行から51年、今月27日に隣接する八森町と合併し、八峰町として生まれ変わりました。

新しい歴史の一步刻む / 三種町

6-3-65

琴丘、山本、八竜の山本郡南部 3 町は 3 月 20 日、合併して「三種町」となりました。役場本庁舎（旧八竜町役場）では業務開始を前に開庁式が行われ、玄関前の銘板を除幕したほか、旧 3 町の首長、議会議長らがテープカットし、新町の船出を祝いました。三種町は、「平成の大合併」で誕生する能代山本の 3 市町のうちトップを切って発足。人口 2 万 438 人（17 年国勢調査速報）、面積 248・06 平方キロで、町名の由来となった三種川がほぼ中央を流れます。旧八竜町役場を役場本庁とし、3 地区にそれぞれ総合支所を置きました。

市旗降納や市民歌斉唱 / 能代閉市式

6-3-66

能代市の閉市式は 3 月 20 日、市役所正面玄関前で行われ、強い風にあおられながらもえんじ色の市旗を降納し、現在の能代市に別れを告げました。能代市は昭和 15 年 10 月 1 日、能代港町、東雲村、榊村が合併し県内 2 番目の市として誕生。二ツ井町との合併で、現・能代市は 66 年の歴史を終えました。

融和と発展に期待寄せ / 新・能代市発足

6-3-67

能代市と二ツ井町が合併した新生・能代市が 3 月 21 日誕生し、市役所本庁舎、二ツ井町庁舎それぞれで開庁式が行われ、市章除幕やテープカットで新しい市の第一歩を祝いました。新・能代市は、人口 6 万 2861 人（17 年国勢調査速報値）、面積 426.74 平方キロ。地域自治区「二ツ井町」を設置し、住所表示は旧能代市は変更ありませんが「山本郡二ツ井町」は「能代市二ツ井町」に衣替えしました。旧能代市役所を本庁舎、旧二ツ井町役場を二ツ井町庁舎とし、町庁舎には支所の二ツ井地域局のほか、本庁の環境部、教育委員会、農業委員会が配置されました。

話 題

笠井工務店が優秀賞に / TH 大賞

6-3-68

住宅建築関係の総合メーカー、トステムの住宅施工例コンテスト「第 16 回トータルハウジング大賞」で、能代市鶴形の笠井工務店（笠井孝人代表取締役）の「栄町の家」が中小規模部門優秀賞に選ばれました。同コンテストは、地域工務店の設計・施工力の向上を図ろうと毎年開催。今回は全国から 692 点の応募があり、大賞、準大賞、マスター大賞各 1 点と優秀賞 15 点、特別賞 5 点、奨励賞 30 点の計 53 点の入賞作品を決めました。

町名消える二ツ井特集 / 「地図中心」

6-3-69

財団法人「日本地図センター」（東京都目黒区、野々村邦夫理事長）は、10 日発売予定の月刊誌「地図中心」で二ツ井町を特集しました。全国的に市町村合併が進む中で、市町村名が消える自治体の中から同町を取り上げ、大幅にスペースを割いて町の足跡や恋文コンテストなどを紹介しました。21 日に能代市との合併を控えた同町にとって記念の一冊で、町では町内全戸に無料で配布。

県内就職、5 割切る / 高卒者就職状況

6-3-70

ハローワーク能代（能代職安）がまとめた 1 月末段階での高校生新規学卒者職業紹介状況によると、好調な県外就職と厳しい県内就職の実態が一層鮮明となっていまし

た。未就職者は全体、県内外とも前年同期比で大きく減っており、そのほとんどが県内組。地元能代山本への就職は大きく落ち込み、県内就職率も前年割れが決定的な展開。

「二ツ井白神」を要望 / 高速道 IC 名称

6-3-71

二ツ井、藤里両町と二ツ井町の2団体は14日、国土交通省能代河川国道事務所などに、二ツ井町駒形で工事が進む琴丘能代道路の仮称・二ツ井インターチェンジ（IC）の名称を、「二ツ井白神」としてもらおうよう要望書を提出しました。世界自然遺産・白神山地への本県側玄関口のほか、合併でなくなる町名を残したい、などを採用理由に挙げていました。

秋田エコプラッシュ、工業団地に工場完成

6-3-72

秋田エコプラッシュ（本社能代市扇田、富永行盛社長）の新工場が竣工、15日に工場清ばつ式と祝賀会が行われ、行政、地元経済産業界関係者らが、県北エコタウン事業の拠点の本格稼働を祝うとともに、リサイクル事業の地元定着への決意を新たにしました。

観光振興室の事務室が移動しました。

合併に伴う、組織・機構の変更で、これまでの事務室から、2階の真上の部屋に移動しました。

電話番号はそのまま 0185-89-2179 F A X は 0185-89-1776 に変わりました

お知らせ

ブログ 『能代でらっと情報』

能代の最新的话题を毎日、**ブログ**で発信しています。

お近くのパソコンでぜひご覧ください。

《1》 検索サイトから

[Google](#)（グーグル） [Infoseek](#)（インフォシーク） [goo](#)（グー）

[Excite](#)（エキサイト） [Yahoo](#)（ヤフー）

検索『能代でらっと情報』と入れて、検索してください。

《2》 能代でらっと情報のURL

http://blog.livedoor.jp/noshiro_kanko/

《 3 》能代市のホームページ 能代の観光からもブログに入れます。

検索サイト

能代市

観光情報

能代地域

能代市観光

能代でらっと情報

能代の観光ポスター

能代の観光ポスターができました。

能代 P R 大使の皆様には、先に送付いたしました。

ご活用、ご紹介くださるようお願いいたします。

ご入用の場合、P R に利用する場合はいつでもお知らせください。
枚数に制限をしませんので、必要な枚数をすぐに送ります。

風の松原のチラシ

『風の松原』の紹介チラシを作成しました。

- ・ 日本一の規模を誇る海岸砂防林、癒しの森として、紹介しています。
- ・ P R をお願いします。いつでも必要な枚数を送ります。お知らせください。

能代 P R 大使から

(項 目)	(能代 P R 大使)
---------	---------------

(内 容)

F A X

0 1 8 5 - 8 9 - 1 7 7 6

電話番号

0 1 8 5 - 8 9 - 2 1 7 9

E メール

syokou@city.noshiro.akita.jp

kouki-ebisuya@city.noshiro.akita.jp